

USPTO 長官 サテライトオフィスの現況について言及

2015年7月13日
JETRONY 知財部
今村、丸岡

USPTO の Michelle K. Lee 長官は公式ブログ¹において、同庁が運営するサテライトオフィスの現況を報告した。要旨は以下のとおり。

<シリコンバレーオフィス²>

- 正式オフィスの開設は2015年の後半を予定。
- 職員の採用が同オフィスの優先課題。特に特許審査官の採用活動においては、電気工学、コンピュータ工学または機械工学を専門とする人材を求めている。
- ベンチャー企業や地域のインキュベーターを対象に技術別・産業別ワークショップを開催するなど、普及支援活動を活発に行っている。

<ダラスオフィス>

- 今年後半の正式オフィス開設に向けて、所長(ディレクター)の選考中。
- 今夏中に特許審査官の募集を開始する予定。
- 副長官出席のイベントを開催するなど、普及啓発活動を活発に行っている。

<デンバーオフィス³>

- 6月30日に正式オフィス開設1周年を迎える。
- 特許審査官80名および特許審判部(PTAB)判事11名が勤務し、Robin Evans 暫定所長の下、環境技術、バイオテクノロジーなど同オフィス管轄地区の主要産業との協働を進め、また、USPTOの特許プロボノプログラムの拡充に当たっている。

<デトロイトオフィス⁴>

- 7月12日に正式オフィス開設3周年を迎える。
- 現在特許審査官120名超およびPTAB判事10名が勤務し、Christal Sheppard 所長の下、地元イノベーションコミュニティとの共同事業を進めるとともに、一般向けの無料セミナーを土曜日に開催するなどしている。

¹原文：http://www.uspto.gov/blog/director/entry/update_on_our_regional_offices

²http://www.jetro.go.jp/ext_images/world/n_america/us/ip/news/pdf/20131211.pdf

³http://www.jetro.go.jp/ext_images/world/n_america/us/ip/news/pdf/20140701.pdf

⁴http://www.jetro.go.jp/ext_images/world/n_america/us/ip/pdf/20150204_1.pdf

(参考)USPTOのサテライトオフィスについて

2011年9月に発効したAIAにおいて、①USPTOと出願人や発明者との関係を強化する知財普及活動を充実させること、②特許審査官の新規採用、③バックログの解消、④特許審査の品質向上、等を目的としたサテライトオフィスを3年以内に3箇所以上設置することが定められた。

なお、デトロイトオフィスはAIA制定以前の2010年にUSPTO自身で設置を決めており、その他のオフィスとは経緯が違ふ。

以上